

○林委員長 続きまして、次に、東郷元帥記念公園関係の2件の陳情審査に入ります。送付30-7、東郷元帥公園改修工事について。送付30-9、東郷元帥記念公園改修工事についての2件です。

執行機関から、進捗状況等の説明があればお願いいたします。

○谷田部道路公園課長 東郷元帥記念公園の改修整備の工事の進捗状況でございますが、7月4日の当企画総務委員会におきまして、この東郷公園から鉛が出たということで、一時閉鎖をさせていただきたいと。それから、工事を一時中止し、土壌の調査をきちんとした上で、安全対策を図っていききたいということでご説明を差し上げたところでございます。

その後、8月7日に、東郷元帥記念公園改修整備検討協議会、こちらのほうを18時30分から、さくら館で開催をさせていただきました。で、このときに、土壌の鉛が含有していたということの説明をまずは、冒頭させていただきました。このときには、東京農工大学の細見先生という土壌汚染の専門の先生でございますが、この先生にも同席をいただきまして、この土壌への鉛の含有とその対応策ということで、お話をさせていただきました。この後、質疑をして、いろいろご意見を伺ったところでございます。

当日は、傍聴者の方20名、参加されました。この中には、今回の陳情を出されている方もご出席をされておりました。その中で、鉛に関しましては、きちんとした対応をとって進めてほしいというお話でございましたが、この工事に関しましては、やはり、これまで近くに住んでいたマンションの方におきましても、ちょっと唐突だったというお話もございました。

それから、この計画については、できるだけ情報公開を今後してほしいんだというご意見もございました。で、会長は、法政大学の福井先生が会長ということで仕切っていただいているところでございますが、福井先生のほうから、今回、鉛が検出されたために工事が中断していますので、改めて改修内容や材料だとか、そういった細かいところも検討する機会があると。で、今後とも協議会等に多くの方にも出席をいただきまして、その中で、今回のように意見交換を重ねることで、よりよい公園にしていきたいということで、改修案できた後は、この工事業者に任せるだけでなく、住民の皆さんも、皆、参加して、よりよい公園をつくっていきましょうというお話がございました。

今後とも傍聴の方も広く呼びかけさせていただきまして、その中で自由にご意見もいただいて、そういったご意見の、意見交換をした上で、改めてこの改修について考えていきたいというお話をさせていただきました。

で、この鉛の今現在、調査中でございますが、まず、今10メートルメッシュで、それぞれ土から鉛が出ているかどうか、今、分析しているところでございます。この分析結果に基づきまして、出た箇所については、ボーリング調査でどれだけの深さまで入っているか、これをきちんと見きわめた上で、最終的にどれだけの土を、これは搬出する必要があるか、ちょっと、場合によっては余り深くまである場合には、封じ込めという作業も必要になるかもしれません。ここの判断をして、次のステップに進めると。その中で、当然ながら、鉛が出ている箇所に樹木が植わっている場所につきましては、場合によっては、これ、樹木も撤去せざるを得ない状況も出てまいります。そういう意味では、改めて、この公園自体の、今の計画自体を見直さなきゃいけないという状況もございますので、この協議会を通じて、皆さんでいろいろ議論を重ねながら、改めて検討していくという機会に

なろうかと思っております。近々に、この結果が出てまいる予定でございますので、それが、結果が出ましたらば、当委員会のほうにもご報告差し上げて、で、また、その後、この東郷公園の改修整備計画協議会を開いて、そこで情報提供もし、今後進めていきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○林委員長 はい。まあ、近々というのは、どれぐらい、鉛の。共有したほうが。

○谷田部道路公園課長 これ、まず、どこの場所から出ているか、まずここをきちんと結果が出てくるのが、今取り寄せ中でございますけども、今月の半ばぐらいには出てくる予定でございます。

○林委員長 10月。

○谷田部道路公園課長 はい。で、その後、実際にどのぐらいの深さまで入っているのかというのは、ボーリングをやって調べるんですが、最初に1メートル、2メートルぐらいまでやって、そこでもう出なければ、もうそれで終わりなんですけど、さらに——だから、そこで1回また調査しなければなりません。とった土を、鉛が入っているかどうか。そこでもしもまだ入っているようだったら、またさらに1メートル、2メートル深めていかなければいけないということがあるので、ちょっとそこの辺の作業については、ちょっと1回ボーリングをやった後に、1回、まあ、精査をするというような段階を迎えて、さらに、必要があればやっていかなきゃなりませんので、ちょっと先が見えないような状況ではございます。

○林委員長 という現状でございます。

何か、委員の方。

○小枝委員 日程感のところでも聞きたいんですけども、再協議をする場に今なっているわけですよね。で、福井先生を初めとして、傍聴者の方たちも意見いただいて、一緒になって、かなりいろんな話ができるようになったというのが、8月7日だったんですよね。で、鉛が出なければどうなったのかなとも思いますけれども、とりあえずまあ、けがの功名としてそういうテーブルができたということをやしとするならば、再協議の日程感というものを持って、その中で、それなりに中身のあることをしていかないと、ただ、時だけが流れていってしまって、最後のところで、えいやっ、というふうになってしまうのは、これまでのことがあるだけに心配じゃないかなというふうに思うんですよ。最短でこのぐらい、最長でこのぐらいというのはありますか。

○谷田部道路公園課長 この今の協議会の中でも、当然、いろいろと今後、今の計画についても、いろいろ議論していきましようということになってございます。で、この議論をする上では、当然、今計画である残す樹木だとか、そういったものに影響があるかないかで、またこれ、検討する中身が変わってまいりますので、まずは、この一時的な結果をちょっと踏まえた上で、検討していきましようということになってございます。

先ほど申し上りましたとおり、1メートル、2メートルで、ほかで、もうそれ以上出ないということであれば、これはもう半月ぐらいで終わろうかなと思っておりますので、今、10月半ばでございますが、11月半ばぐらいには最短で終わるかなと。で、最長でいきますと、12月いっぱい、1月まで入るかなというような状況でございます、今。今の現状では、そういうことでございます。

○小枝委員 でしたら、座長のお考えもあると思うんですけども、鉛の結果ということにとらわれず、今の原案なりをみんなで協議をするという場については、同時並行でやりながら、判断をしていくというような場面づくりにしたほうがいいのではないのでしょうか。というのは、もう現在、八十何本切るということで、もう既に、五、六本、もっとかな、切っていますよね。というような状況で、小学校を見に行ったら人なんかもう、ガラス越しに見えますので、あ、こんなことになっちゃってと、結構みんな気になっているわけです。で、それは、お尻のほうに持っていくと、何となくそれで今のお話では、鉛の出方によっては切らなきゃいけないということもおっしゃっているわけですよね。すると、行政とかに対する、ちょっとまだ信頼感、ないですもん。残念ながら。

で、先生のほうは、初めっからこういうふうにして欲しかったのにとずっと言っていたと。初めっからこういう開かれた運営にして欲しかったのにということを、先生はかなりおっしゃっているらしいんですね。だったら、それをとめていたのは誰なのだ、行政だということに、やっぱりなっているんですよ。まあ、担当はね、前の担当だから。あ、部長はかわっていないのかな。そういう、やっぱり運営。（発言する者あり）なぜならば、鉛が出たおかげで、80本切らなくても、みんなでいい公園をつくろうというテーブルになってきたから、（発言する者あり）最初っからこれをやってくればよかったのに、何か、そうしてくれなかったという感触なんですよ。（発言する者あり）

まあ、言いたいことは、お尻に持っていかなくて、鉛の結果を待って、その報告かたがたみんなの意見そこだけというんじゃないで、やっぱり、今もう既に、つくっちゃっているプランがあるわけですから、それをみんなで、どうなんだということを忌憚のない、ワークショップじゃないけども、逆に言うことができるのは今だけじゃないですか。じゃないと、この後、もっとおくれますよ、一本一本で。ということ、どうぞ、広報広聴、広聴はこれから委員会の中で大切な課題として捉えていくということになっているから、議会も一緒に、行政も一緒に考えていくことになっているんですけども、これこそが、今、鉛待ちじゃなくて、その鉛の与えられた期間の中で、ワークショップ型の協働・参画型の、地域にとって、よりいいテーブルというものを、意見を拝聴できるような場にしたらどうなんですか。まあ、それは先生と相談していただいて結構ですけども、先生はノーとはおっしゃらないと思うんですよ。

○嶋崎委員 ちょっと委員長、関連。

○林委員長 嶋崎委員。

○嶋崎委員 まあ、一方でそういう考え方もあるでしょう。しかしながら、この間のさくら館の福井先生、座長がやっていただいた協議会というのは、非常に、角を突き合わせる会ではなくて、どちらかという、お互いに意見を交換し合いながら、しかしながら、まずは、子どもたちの、あそこは大切な遊び場。で、大人の方たちも、いろんな形で楽しんでいただく、区内にとっては非常に大きな公園なわけなんで、そこはまずは、安心・安全を担保してから、そして、その次のステージに行かないと、これまた、せっかく議論をしても、そこでこういう実態が明らかになりましたよ、皆さんの言っていることが、ここでまた変わっちゃいましたよということ、そこでまた、手順・手続が違うんじゃないかという話にもなりかねないんで、その見解を、どういうふうに役所が見るのか、そこら辺をちょっと、お聞かせをいただいて、ご答弁いただきたいと思っております。

○谷田部道路公園課長 今回の嶋崎委員のご指摘でございますが、まさに私どももそういう思いもございます。これ、結果について、これは東京都の環境局のほうにお伺いを立てて、例えば、これ、樹木にも影響があるという判断になった場合には、これ、切りなさいという、これ、行政、私どもが判断するのではなくて、これは東京都のほうの環境局のほうで、きちんとした指導を受けながら進めていますので、それによって、ちょっと前もって話を伺うと、どうしても、やっぱりそこにあったものについては、根っこについている土はとり切れないので、これはもう処分していただくような形になることが、ほぼ、今までの事例からすると、撤去になりますという話も聞いてございますので、当然ながら、こういう今の計画の中の木というのは、非常に、皆様の思いもあるし、重要な景観というか、この公園の中での整備については大きなところでございますので、ある程度このところがはっきりした上で、また手戻り、先ほど嶋崎委員がおっしゃられたとおり、せっかくやってもまた手戻りになられても困るということもあって、これは福井先生とも相談して、そういう形がいいんじゃないかということで、今は、そんなに、これから長く時間がかかるわけじゃないかなと思ってはいますが、当然ながら出た段階で早急に、皆さんと協議を進めていきたいというふうに考えてございます。

○林委員長 小枝委員。

○小枝委員 ちょっと私は鉛の専門じゃないのでわかりませんが、そういう安心・安全のことは、当然、嶋崎委員もおっしゃるとおりだと思いますが、その上で、でき上がったものが残念な結果になってしまうと、それは、やっぱり納得とか、それから、判断というのは、みんな、それなりの専門性と、それから一定程度、何というか見えないところでない、しっかりと公開制のもとで、みんなで考えていくということが必要なので、で、公園ってやっぱり、みんなのものじゃないですか、それで、やはり自然を愛する人、自然を愛する人に守られる公園が、子どもを大切に守っていると、こういう自然循環、人間循環だと思うんですね。だから、こう、テーブルの上だけで考えないで、やっぱりまちで、このまちを愛して、この公園を使っている親子やここで散歩している高齢者の人たちがやっぱりよかったなというふうに思える結果にするために今何をするかということ、また先ほど言われた、正解ないですよと言われちゃうかもしれないんだけど、正解ないなりにベストを尽くす、知恵を尽くす、それで、そのための今、時間が与えられている、で、もし鉛がなかったら、あのまま行っちゃってましたよ。そういう状況は、座長の先生にとっても残念だったということですので、やはりこの神様が与えてくれた時間を大切に、丁寧に地域の人たちと使っていくということと安心・安全を確認していくということは全く矛盾しないやり方があるはずだということを申し上げていますので、そこは知恵のあるところで、ぜひ知恵を尽くしてやっていただきたいというふうに思うんです。

もうこれは、メンバーがどうかということも申し上げません。タイムスケジュールが後手後手にならないようにねということも言っています。大丈夫ですよ。きょうは、まあ、そのところ、確認させてください。で、その辺、先生方とも、よく話していただきたいし、地域住民の声にも耳を傾けていただきたい。

○林委員長 はい。

ちょっと、休憩していいですかね。休憩。

午後2時43分休憩

午後2時47分再開

○林委員長 では、委員会を再開いたします。

道路公園課長。

○谷田部道路公園課長 この8月7日の協議会のときにも、最後、福井先生の締め言葉がございましたけども、まあ、鉛が出たのがいい機会ではないですけども、そういったご意見も、これも行政の責任でございましたけども、聞いていなかったという方も、こういうところで意見が言えるような状況の場もできた。で、改めてですね、今の計画がありますけども、そういったいい公園にしたいという思いは、皆さん一致しているということ福井先生はおっしゃっていました。なので、向いている方向は、違う方向を向いていないので、ぜひこの機会に、そういったところもいろいろご意見も、皆さん、言っていたいて、さらに、よりよい公園にしていきたいということで、福井先生も非常に柔軟に対応していきたいという思いでございましたので、私どもも、もちろんその思いで進めていきたいと思っていますし、先ほど小枝委員からも指摘ございましたとおり、早く進めていきたいという思いも、もちろんございます。ここは、ある程度手戻りないような形で、まあ、そうはいつでもそんなに時間もかけないでやっていかなくちゃいけないところ等もございますので、ここは福井先生とも相談しながら進めていきたいというふうに考えてございます。

○林委員長 木村副委員長。

○木村副委員長 8月7日の協議会にも私も傍聴いたしまして、福井会長も、今回、鉛が出たのを不幸中の幸いにしよう。それで、みんなで知恵を出し合っている公園にしていこうというようなまとめだったと思うんですね。で、これ、非常にいい流れだと思うんです。で、先ほどゼロベース、これは、これまでの積み重ねもありますし、難しいと思うんですけども、ただ、あの前回の協議会のまとめを踏まえるのですよ、うーん、傍聴者の皆さんも協議会のメンバーも、それこそ対等、平等の関係で意見を出し合って、それでいいものを一つにこう、収れんさせていこうと、そういう雰囲気でしたでしょ。となると、これは、ゼロベースではないけれども、やはり周りの住民の皆さんの、やはり合意、これが一致できた部分は、当時のそのまま生きていくでしょう。でも、そうでないところは、きちんと議論をして、それで、よりいいものに収れんさせていくと、実らせていくと。これは、あの協議会の流れから言うと、そういう方向でぜひ発展させていく必要があるんじゃないかと。やっぱり協議会のあるべき姿というのを、ぜひ見本を見せてほしいというふうに思いました。ちょっとその辺。

それから、もう一つはね、やはり専門家、細見先生ですか、やはり細見先生の存在というのは、非常に大きかったと思うんですよ。で、やはり物事を、やはり皆さん素人ですので、この鉛については、専門家の知見も仰ぎながら、そして、よりいいものをこう、つくっていく。その点でも、専門家のご助言を受けながら、みんなで検討していく、その点でも、結構いい協議会のあるべき姿にさらに一歩近づいたという印象だったんです。で、これはほかの協議会にも、ぜひ、普及できればな、普及したらいいんじゃないかと思うんですけども、伺いたいのは、その専門家の知見。これはやっぱりもうしばらく協力を仰ぐ必要があるんじゃないかと、この点、感じましたので、ちょっと二つ合わせてお願いします。

○谷田部道路公園課長 まさに木村委員おっしゃられたとおり、いろんな意見が、協議会

の中で、傍聴者の方も対等の立場で、意見を述べられていましたし、今後そういった意見も重ねながら、いい公園をつくっていきましょうという思いですので、ぜひ、私どもも、そういう思いに添えていきたいなと思っていますので、これはまた、引き続き福井先生とご相談しながら、よりよいものをつくってきたいというふうに考えてございます。

それから、農工大学の細見先生でございますが、今回、土壌の含有があったということで、これは風評被害等ですね、皆さんにご心配をおかけしないような対応をとらなくちゃいけないということで、東京都の環境局のほうからの紹介も受けまして、この先生にお願いをしたところでございます。で、実際に、その前にも行って説明もさせていただきましたし、状況も説明していただいて、当日来ていただいて、非常にわかりやすいご説明もいただきました。今後、まず、この結果が出たら、まず細見先生のところに伺って、この対応について意見を伺いたいと思っていますし、当然、今度、また協議会のほうでご報告差し上げるときには同席していただいて、いろいろとご助言いただければなというふうに考えてございます。引き続き協力をお願いしていきたいというふうに考えてございます。

○林委員長 米田委員。

○米田委員 先ほど鉛の報告があって、今月、中ぐらに出るんじゃないかと。で、適時、委員会にご報告させていただくということを伺いました。適切な対応をとっていただいているなど評価したいと思います。

ただ、区民の方も、結構このことを心配されておりまして、こういった形で情報公開していくかという部分だけ、少し教えてください。

○谷田部道路公園課長 まず、この東郷元帥記念公園改修整備検討協議会のほうで、まずご説明を差し上げると。で、その後、公園に少し大き目の形で、この土壌の今、状況の結果についても、張り出すということがまず一つあるかと思えます。それから、ホームページに掲載する。それから、広報を使ってということもあろうかと思えますので、少し、広報だとかそういったものが見れない方は、現地のほうで、こう見れたりとか、あらゆることをちょっと考えて、広報については検討してまいりたいと考えてございます。

○米田委員 神田の方も、結構注目していますので……

○林委員長 あ、そう。

○米田委員 ぜひ、公開をよろしく願いたいします。（発言する者あり）

○林委員長 そう。はい。ぜひ。

何か。道路公園課長。

○谷田部道路公園課長 ありがとうございます。ぜひ、広く、皆様に周知できるように検討してまいりたいと思えます。よろしく願いたいします。

○林委員長 さてと。この東郷元帥記念公園につきましても、まだ調査段階であるということでございますので、（「継続」と呼ぶ者あり）はい、取り扱い、それでは、送付30-7、東郷元帥公園改修工事について。送付30-9、東郷元帥記念公園改修工事についての2件につきましては、継続審査と、取り扱いとさせていただきます。よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林委員長 はい。ありがとうございます。